

みやぎハイスクール通信

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひご活用ください。

マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなどをお伝えします。

8月号の目次

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1 マナーアップ通信 | (3) 岩出山高校 | 3 学校紹介 | (7) 第二工業高校 |
| (1) 名取高校 | (4) 加美農業高校 | (1) 宮城第一高校 | |
| (2) 古川黎明高校 | (5) 石巻好文館高校 | (2) 仙台三桜高校 | 4 コラム |
| | (6) 石巻北高校 | (3) 古川高校 | 南郷高校 |
| 2 特色ある取組 | 飯野川校 | (4) 岩ヶ崎高校 | |
| (1) 仙台向山高校 | (7) 田尻さくら高校 | (5) 迫桜高校 | 5 お知らせ |
| (2) 伊具高校 | | (6) 石巻工業高校 | 志津川高校 |

1 マナーアップ通信

(1) 名取高校 <制服の乱れは心の乱れ・挨拶を当たり前に>

本校では生徒会執行部を中心に、通学時のマナーアップ運動や朝の挨拶運動などの活動を行っています。通学マナーアップ運動は、校内だけでなく校外でもきちんとした服装で、公共のマナーを守りながら生活してほしいという思いで活動しています。また、朝の挨拶運動は、各部活動や交通安全委員と共に、名取高校生の挨拶を活性化していこうというねらいで行っています。生徒会や各運動部で行う挨拶運動以外にも、志教育の一環として9月～12月の第2火曜と水曜に、本校近くにある岩沼西小学校前で岩沼西小学校児童と岩沼西中学校の生徒会役員の皆さんとともに挨拶運動もあります。地域の小中学生とともに挨拶運動を通して、地域の中学生からどのように見られるのか、地域全体からどのように見られるのかも意識する良い機会となっています。



<学校のホームページはこちらです>

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(2) 古川黎明高校 <特色ある学校づくり～主な取組の紹介～>

本校では平成25年度に新校舎が完成しました。旧校舎跡地にはサッカーグラウンド、テニスコート、野球・ソフトボールグラウンド、ハンドボールコートがあり、大崎市内屈指の施設を備え、部活動の活性化を図るとともに、基本的な生活習慣の確立を重点目標に掲げ、地域の皆さんから慕われる学校づくりをしていこうと各種マナーアップ運動を実施しています。今年度は特に自転車マナーアップに力を入れ、生徒会交通委員会・教職員が一丸となって、交通事故の未然防止と社会の一員としての自覚を持つ活動として毎月2回自転車マナーアップ運動を（1日と15日）実施しています。このほかにも「春・秋の交通安全週間」にも取り組み、本校のみならず、近隣の小・中学生への啓発も行っています。

中高一貫校であることから、生徒の通学範囲は非常に広がっており、バイク通学も認めています。年2回のバイク実技講習会では、市内の自動車学校のご厚意の下、乗車前点検から危険回避運転技術の習得までを丁寧に指導していただいています。また、列車通学生への啓発活動としては、県教委で開催する列車マナーアップの取組に生徒会執行部と交通委員会が参加し、乗車マナーアップの呼びかけをしています。



<学校のホームページはこちらです>

<https://freimeih-h.myswan.ed.jp/>

2 特色ある取組

(1) 仙台向山高校 <理数科生物巡検>

本校の理数科は、自然科学分野の学習を深めていくことも学科の特徴ですが、そのためにはさまざまな体験、経験が大切です。理数科の1年生では分野ごとの野外巡検が豊富に用意されており、6月24日に生物分野として、東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センターでフィールドワークを行いました。午前には各班に分かれ、有機栽培と化学肥料を用いた栽培（慣行栽培）による稲の生長及び水田の生態系について調査し、午後は収集したデータの分析を行い、その結果から異なる環境での稲作への影響について考えました。また、本校卒業生から大学生活や研究について話を聞く機会もあり、充実した一日となりました。



上記のほか、化学分野では9月に東北大学多元物質科学研究所への研究所訪問、地学分野では11月に泉区焼河原周辺巡検、生物分野では12月に八木山動物公園実習、物理分野では1月に仙台市天文台における学習も用意されており、学校では学べないスケールの大きな体験学習を行うことができます。いずれの活動も、生徒たちの中にある興味関心を引き出し、自然科学のセンスを磨く貴重な時間となるばかりでなく、2年生で行う「課題研究」につながる大きな学びとなっています。

皆さんも、仙台向山高校理数科で充実した学習をしてみませんか？

<学校のホームページはこちらです>

<https://mukaiyama.myswan.ed.jp/>

(2) 伊具高校

< 来年創立100周年！総合学科4系列の取組を紹介！！ >

伊具高校は「21世紀の地球市民」をスローガンに、生徒の希望進路の実現及び社会貢献できる生徒の育成を目指しています。今回は総合学科の4つの系列の取組を紹介します。

< 農学系列～花壇植栽，特別支援学校高等部との交流事業～>

花壇植栽では、自分たちが育てた草花を地域の公園や支援学校の花壇に植え付けました。授業での学びを生かし、支援学校の生徒にアドバイスをを行いながら共同で花壇の美化に貢献しました。



< 機械系列～ものづくりマイスターの活用～>

ものづくりマイスター制度では、生徒たちは、宮城の名工や現代の名工から旋盤や溶接の指導を受け、高校生ものづくりコンテスト旋盤作業部門や高校生溶接技術競技大会に出場しました。高度な技術を間近で体験することで、作業に取り組む意識や進路に対する意識の向上にもつながっています。

< 情報系列～「齋理幻夜」への参加～>

地域で30年以上続く「齋理幻夜」。このお祭のPRポスターの作成やスタッフとして参加することで、郷土愛やコミュニケーション能力が養われます。情報処理の授業で培った文書作成能力が地域貢献につながります。



< 福祉系列～介護実習～>

介護職員初任者研修の資格取得を目指す3年次生が、地元の施設で介護職員の1日の業務を体験します。福祉業界で働く即戦力となるだけでなく、実習を通して更に専門的な知識を学びたいと、上級学校へ進学をする生徒もいます。



< 学校のホームページはこちらです >
<https://igu.myswan.ed.jp/>

(公式ホームページ)



(3) 岩出山高校 <食楽まつりへ参加！>

今年も、6月15日(土)に「大崎食楽まつり」が鳴子峡ゲストハウスにて行われました。今年はいにくの雨模様でしたが、多くの来場者によって会場は賑わいを見せていました。

本校からも、生徒会・ボランティア部・調理研究部・吹奏楽部が参加しました。調理研究部は、毎年学校で作ったクッキーを販売していますが、今年はマドレーヌを作り、多くの方に喜んでいただき完売しました。生徒会とボランティア部、調理研究部は、店舗や抽選会の手伝い、アンケート調査など、様々な場面で活躍しました。小さな子どもが楽しめるようなサポートや、抽選会場での盛り上げなど、来場者の方と共に和やかな雰囲気を作っていました。また、吹奏楽部による本校OB・OGとの合同演奏は、まつりの会場内を大いに湧かせていました。

食楽まつりは地域を代表するイベントの1つで、地域の活性化にも繋がる場であると共に、生徒達にとっても地域貢献の貴重な機会となっています。本校は、今後も地域貢献活動に様々な形で取り組んで参りたいと思います。

<学校のホームページはこちらです>

<https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp/>



(4) 加美農業高校 <農産物販売>

本校では、野菜や果物、花などの農作物を実際に自分たちの手で育てるとともに、生産した農作物の販売も行っています。校内で定期的に販売会を開催したり、地域のイベントでも販売しています。

例えば、加美町中新田の商店街で開催されている花楽市(からくいち)での農産物販売などです。花楽市では二年生の施設野菜班の生徒が、本校で育てた野菜や花、また、本校で収穫したリンゴから作った「ときめきりんごジュース」を販売しています。

販売実習は、本校で生産している作物の現状を広く知ってもらうことや、地域との交流、生徒のコミュニケーション能力の育成を目的としています。生徒たちはお客様への商品の説明や対応の仕方など、接客や農業経営について体験を通して学んでいます。

今後の農産物販売の予定などについては、学校ホームページをご覧ください。

<学校のホームページはこちらです>

<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>



ホテル白萩での農産物販売の様子

(5) 石巻好文館高校

＜総合的な学習（探究）の時間～甲斐あるひとといわれたいむ～＞

石巻好文館高等学校では、その校是『甲斐ある人と言われなむ』（真心をもって世のため人のために 尽くす人になるように 日々努力する）を実現するために、総合的な学習（探究）の時間を、「甲斐あるひとといわれたいむ」と銘打ち、様々な取組を行っています。

主な活動として、1年次では自己理解、2年次では課題研究に取り組んでいます。今年度は2年次の課題研究の準備段階として、石巻専修大学の教授から「研究とは」と題して、研究活動を行う上での基本的な心構えや具体的な取組手法を教授していただきました。

大学教授の協力を得て、受け身の取組ではなく、主体的に活動する、しかも「研究する」ということの難しさや奥深さを学びました。

石巻好文館高等学校では、生徒のニーズにタイムリーに向き合うことで、実り多い総合的な学習（探究）の時間を目指し、日々改善を重ねているところです。



＜学校のホームページはこちらです＞

<https://koubunkan.myswan.ed.jp/>

(6) 石巻北高校飯野川校 ＜職場での体験学習＞

本校では学校設定教科「社会活動」の中に「職業訓練活動」という科目があり、そのメニューの1つにインターンシップがあります。勤労体験を通して、進路を自主的に選択する能力と姿勢を養うと共に、実社会での基本的な礼儀作法を身に付けることが目的です。この科目は主に「三修制」（＝4年制の教育課程を3年間で卒業する制度）による卒業を目指す生徒が自ら選択し、所定の要件を満たすことで1単位が認定されます。

今年度は7月22日（月）から25日（木）までの4日間、1年生4人、2年生9人、3年生6人、計19人が希望する職種から選んだ職場で熱心に勤労体験を行いました。



食料品店



スーパー



グループホーム



理容



自動車整備



部品製造

＜学校のホームページはこちらです＞

<https://i13-hama.myswan.ed.jp/>

(7) 田尻さくら高校 <生活体験作文 校内発表会>

7月4日(木)に、令和元年度生活体験作文校内発表会が行われました。これは、推薦された生徒数名が、高校生活に基づく自身の体験や今までの人生・生き立ちを振り返って伝えたいことを作文にし、全生徒・職員の前でスピーチするというものです。今年度は、5名の生徒による発表でした。どの生徒の作文も、自分というものを正直にさらけ出し、聞き手の心に迫るものがありました。自分と向き合うことは時に逃げたくなるものであり、人前でそれを発信するとなれば、なおさら勇気のいることです。内容のみならず、その勇気に心打たれた生徒が数多くおり、おのずと自分を省みる意味深い日であったと思われます。

最優秀賞には、「今の自分がある理由」というタイトルで発表してくれた、3年次の高橋柚衣さんが選出されました。高橋さんは、学校の代表として10月に行われる宮城県大会に出場します。



<学校のホームページはこちらです>

<https://tajiri-hs.myswan.ed.jp/>

3 学校紹介

(1) 宮城第一高校 <驚きと感動の7分間 ~歌合戦~>

“自主自律”の校風のもと、生徒一人ひとりが輝く学校をめざす宮城第一高校の名物行事「歌合戦」。歌唱だけではなく、テーマ=コンセプトの設定に始まり、歌詞や振り付け、大きな背景や大道具、華やかなステージ衣装、さらには照明や音響にいたるまですべてにおいて生徒たちが創り上げて、クラスが一丸となってその芸術性を競う本校最大の伝統行事です。その「歌合戦」が7月13日(土)に開催されました。例年のように体育館を埋め尽くすほど多くの保護者や卒業生が詰めかけ、「7分間」に凝縮された各クラスの熱い演技に注目しました。1年生は初めての「歌合戦」に試行錯誤しながら、2年生は昨年の経験を大いに生かし格段にレベルアップしたステージをそれぞれ披露。そして4月から着々と準備を進めてきた3年生は「3年間のミヤチライフの集大成」と言わんばかりに、どのクラスも完成度の高いパフォーマンスで観客を魅了しました。上位3クラスはあこがれの“再演”ができるとあって、各クラスの思いを全てこめた7分間のステージは、まさに見る者に驚きと感動を呼び起こす圧巻の舞台でした。栄えある今年の再演は以下のクラスでした。

1位「花紅葉」(3年1組)

2位「嗚呼我らの日本よ」(3年3組)

3位「杉原千畝」(3年6組)

なお「歌合戦」の様子を収めたDVDは、8月31日(土)の「秋桜祭(文化祭)」でも見ることができます!



<学校のホームページはこちらです>

<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

(2) 仙台三桜高校 <合唱コンクール>

7月5日金曜日、仙台三桜高校恒例の合唱コンクールが、仙台サンプラザを会場に開催されました。6月18日の前期中間考査開けから、毎日朝早く登校して練習、昼は早弁して練習、そして放課後も部活や講習と上手に折り合いをつけながら練習。その成果を発表する当日は開場前から続々と生徒たちが集まって、開場と同時に全クラスが最終練習を始める熱の入れようでした。課題曲は校歌が指定され、そのほか自由曲を一曲合唱して審査されます。どのクラスも思い思いの趣向をこらしてステージを盛り上げました。中にはおそろいのステージ衣装に身を包み全員で熱唱するクラスもありました。今年度の最優秀賞は並み居る3年生を押さえて2年生が獲得しました。成績発表が終わると、音楽部がステージに登場し、三桜高校のイメージソングとして定着している「さくら」の全校合唱で今年度の合唱コンクールを締めくくりました。

<生徒の感想>

私は昨年度に引き続き今年度も合唱レク委員を務めました。今年度、最優秀賞を受賞するまでの練習過程で、私が一番重要だと感じたのは、クラスでの雰囲気作りです。合唱練習を始めだした頃はクラスが一つというよりは、いくつかのグループに分かれてしまっていて、リーダー役の私たちの思いが全体に伝わって行かないことが多くありました。しかし、練習を重ねていくうちに、合唱に対して真剣に向き合ってくれる仲間が増えました。その中心となってくれたのが音楽部員の人たちでした。私のクラスには5人の音楽部員がいて、四つのパートに分かれて、初めの音取りから曲の表現の仕方まで指導してくれました。

クラスを一生懸命にリードするこの姿を見て、クラスみんなもそれに応え、協力してくれました。そして、次第にクラスが団結していきました。

その頃になると、私たちの話にクラスみんなが耳を傾けてくれるようになって合唱も順調に仕上がっていきました。このように、最後にはクラスが一丸となって頑張れたことが、最優秀賞に結びついたのでと思います。

最初は思うようにいかずに大変でしたが、今は協力してくれたクラスみんなにすごく感謝しています。(最優秀賞クラス 2年1組 レクリエーション委員 小泉侑以(仙台市立六郷中学校出身))

<学校のホームページはこちらです>

<https://sen3o-h.myswan.ed.jp/>



(3) 古川高校 <古高 夏の陣>

古川高校の夏休みは7月25日から8月18日までの25日間。古高生は、勉強に、部活動に充実した毎日を過ごしました。

1年生は休みに入るとすぐに学習合宿がありました。今年も約100名の生徒が参加し、自学自習を中心に学習に取り組みました。7月30日には東北大学のオープンキャンパスに全員で参加し、各自が関心を持っている学部を見学しました。もっと時間が欲しいという生徒も多く、大いに刺激を受けたようです。

並行して2学年は3日間の課外講習を行いました。例年冷房完備の施設をお借りして実施しています。約70名の生徒が来年度から実施される大学入学共通テスト対策の講習に取り組みました。続いて8月4日からの2泊3日、難関大学突破のための七校合同合宿（気仙沼高校、佐沼高校、石巻高校、古川高校、古川黎明高校、白石高校、築館高校）が行われました。本校からは8名が参加し、他校生と切磋琢磨しながら国英の実践入試問題に挑戦したり、各自の学びを深めたりと、勉強漬けの3日間を過ごしました。2学年ではオープンキャンパスへの参加が夏休みの課題となっており、県内のみならず、県外の大学へも多数の生徒が参加しました。

3年生は、入試に向けて勝負の時を過ごしていました。7月24日から8月10日まで、夏期講習が実施されました。一日90分×5コマ（8：20～16：50）の設定です。冷房施設のある講義室（4教室、収容人員は合計180名）をフルに活用し、35℃を超える猛暑下においても、快適に講習に集中することができます。また、古川高校には、個別に仕切られた学習スペース80席が生徒会館（蛍雪会館）2階に設置されており、冷房の効いた室内で、朝早くから夕方6時半の下校時まで多くの生徒が学習に励んでいます。

1・2年生は、学習のみならず部活動にも熱心に取り組み、まさに文武両道を体現する、そして3年生は、各自が目標の進路に向けて努力する、“熱い”夏を過ごしています。

<学校のホームページはこちらです。>

<https://furuko.myswan.ed.jp/>



(4) 岩ヶ崎高校

<栗っ子ティーチャー・C-PLAN・栗原市役所岩高支所>

地域の皆様のご協力のもと、岩ヶ崎高校で実施している様々な取組を紹介します。

1. 栗っ子ティーチャー（本校1・2年生）

地域の小学校のサマースクールで、本校生が学習サポートをする活動です。模範となる行動をすることは勿論、広い視野を持つことの大切さ、自身が今後身に付けたいことへの気づき等、様々なことを学ぶことができます。

2. C-PLAN（小学校への高校生教育助手派遣プログラム・本校3年生）

地域の小学校で、教員等を目指す本校生が授業補助をする活動です。掃除、集会活動、放課後活動等を通して小学生と触れ合うことで、将来の夢に向け学ぶべきことに気づき、決意を新たにすることができます。

3. 栗原市役所岩高支所（本校2年生）

地域の課題を市役所の方から教えていただき、フィールドワークを交えながら調べ、意見を出し合い妥当性を協議します。最終回では市役所の方をお招きし、課題解決案を発表します。地域を活性化させるには、よりよい社会づくりに貢献するためには等、様々な角度から考えることができる活動です。



<学校のホームページはこちらです>

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

(5) 迫桜高校 <教育課程の特色>

130以上の開設科目の中から、生徒が自分で科目を選択し、「自分独自の時間割」を作ります。ただ好きな科目を選ぶということではなく、科目選択のためには、自分の進路を考えなければいけません。総合学科ではそのために「産業社会と人間」という科目を1年次で学習し、まず進路について深く考えてもらうことにしています。この「産業社会と人間」は、科目選択のための学習や、職場体験学習等しながら自分の将来についていろいろな角度から見つめる科目です。

生徒が科目選択を考える材料として、本校では進路に応じた科目選択のモデルを《系列》として示しています。《系列》は人文国際、自然科学、福祉教養、情報科学、エンジニアリング、アグリビジネスの6つです。この系列を参考にして自分の科目を選択することになります。

写真は7月9日（火）に実施された1年次職場体験学習の栗原市消防での実習風景です。



<学校のホームページはこちらです>

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(6) 石巻工業高校

<官学連携地域貢献活動・ボート部 インターハイ出場>

○ 官学連携地域貢献活動について

土木システム科3年生の課題研究では、5つのパートがありますが、その中のひとつに地域貢献班パートがあります。地域貢献班パートでは、国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所などと連携し、地域におけるボランティア活動を導入した学習に取り組んでいます。その学習活動において、土木構造物に関する維持や補修などのボランティア活動を通し、専門的な知識や技術・技能の向上と倫理観を持った職業人の育成を図るとともに、官学連携による実践的教育活動を推進し、社会のニーズに応える人材を養成したいと考えています。



○ ボート部 インターハイ出場

5月31日（金）～6月2日（日）にアイエス総合ボートランドで第68回宮城県高等学校総合体育大会ボート競技会が行われました。男子は総合優勝を果たし、クォドルプル（高橋明杜・白鳥翔・郷野悠・鈴木啓心・浅野蒼空）とダブルスカル（阿部昂大・嶋田武蔵）がインターハイ出場を決めました。

日頃からの選手達の努力が実を結んだことでもあります。OBの方々や保護者・地域の方々からのご

支援とご協力のおかげで今回の結果を出すことができました。ご支援いただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、石巻工業高校代表として全国の舞台上で活躍していきたいと思っております。



<学校のホームページはこちらです>

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

(7) 第二工業高校 <資格取得を目指して～特別学習期間～>

宮二工では7月に「特別学習期間」を設け、資格・検定の取得や教科の基礎力向上を目指して8日間の予定で各種講座を開講しています。今年度は、「ガス溶接」「アーク溶接」「危険物取扱者」「パソコン検定」「第二種電気工事士」「電験三種」「基礎学力養成」の各種講座を開講しました。

その中で、電気科の生徒のほとんどは「電気工事士養成講座」を選択し、資格取得を目指して一生懸命に取り組みました。この講座は「みやぎクラフトマン21事業」によるものづくり実践支援として外部講師を招き、4日間（計16時間）にわたり実技指導をしていただくものです。具体的には屋内配線工事作業での器具の取り付け方や電線の張り方、金属管の施工（切り方、曲げ方）などを教わります。受講した生徒たちは、実際に現場で働いている方から直接実践的な技術を指導していただき、資格取得に向けてより一層意欲を高めていました。



<学校のホームページはこちらです>
<https://m2k.myswan.ed.jp/>

4 コラム

(1) 南郷高校 <宮城県学校農業クラブ連盟各種発表会>

7月19日（金）に行われた宮城県学校農業クラブ連盟各種発表会で、クラブ活動紹介発表の部に出場した本校の産業技術科3年岩佐広一、2年佐藤綺星が特別奨励賞を受賞しました。近隣の施設に花を届けるフラワー・サービス・プロジェクト、企業と連携したソーセージ作り、マイクロバブル水を使ったシクラメン栽培などの取組や、農業クラブ役員やクラブ員の意識高揚のため日々工夫していることについて10分間にまとめて紹介しました。前日まで繰り返し行った練習の甲斐あって、パソコン操作とも息の合った発表ができました。

2人は宮城県代表として、8月22、23日に秋田県で開催された東北大会に参加し、本校の特色ある活動を発表しました。



<学校のホームページはこちらです>
<https://nango-h.myswan.ed.jp/>

5 お知らせ

(1) 志津川高校 <文化祭, 第2回授業公開のお知らせ>

8月31日(土), 9月1日(日)に, 本校の文化祭である『旭ヶ浦祭』が行われます。1日(日)の一般公開では文化部による作品展示・研究発表・ステージ発表のほか, 各クラスが企画する模擬店などが会場を盛り上げます。多くの方々のご来場をお待ちしております。

なお, 31日(土)の午後には翌日の一般公開をアピールするため, 学校からさんさん商店街まで仮装行列を行う予定です。

(掲載写真は昨年度の仮装行列)

また, 10月21日(月)~31日(木)には第2回授業公開を予定しています。素顔の志津川高校をご覧いただける機会です。町内外の皆様のご来校をお待ちしております。



<学校のホームページはこちらです>

<https://sizugawa-hs.myswan.ed.jp/>